

いのちの灯りと仲間たち

<仲間たちは最後のその日まで 一生懸命自分の種を蒔いて逝きました。>

	<p>ゆか 由華ちゃん 20歳 三重県</p>	<p>由華ちゃんは飲酒運転の暴走車に命を奪われました。事故の翌日が美容学校の卒業式で、国家試験にも合格しました。明るくて陽気で、家族にも友人にもいっぱい「思いやりの種」を蒔いていました。</p>
	<p>ゆうま 侑真くん 17歳 三重県</p>	<p>侑真くんは家に帰る途中、猛スピードのトラックに自転車ごと跳ね飛ばされました。「産んでくれて ありがとう」と言ってくれた、とても優しい子でした、「やさしさの種」をいっぱい持っていました。</p>
	<p>こうたろう 浩太郎くん 22歳 岐阜県</p>	<p>浩太郎くんは明日が入社式と言う日に、友人を家に送った帰り大型トラックに横から追突されました。家族や友人をととても大切にしていました、「感謝の種」をいつも言葉にして残してくれました。</p>
	<p>たいち 大知くん 9歳 滋賀県</p>	<p>大知くんは犬の散歩中に、大型ダンプに跳ね飛ばされたんだ。同じ命はどこにもない、世界でたった一つの命と教えてくれたね、どこにいても人気者で笑顔が絶えなかった、だから「笑顔の種」を蒔いていたんだね。</p>
	<p>ゆき 優希ちゃん 7歳 東京都</p>	<p>優希ちゃんは小学校へ乱入してきた男に刺されて、天国へ逝きました。最後の力を振り絞って68歩も歩きました。最後まで希望を捨てない、「希望の種」を蒔いて、生きる強さを教えてくれました。</p>
	<p>やすひこ 泰彦くん 20歳 大阪府</p>	<p>泰彦くんは大学へ行く途中、大型トラックに追突されました。「僕の方が青やったのに」が最後の言葉となりました。趣味はライブ演奏で、夢はミュージシャンになる事、「夢の種」を蒔いている途中でした。</p>
	<p>やすまさ 康政くん 15歳 和歌山県</p>	<p>康政くんはビルから飛び降りて、自殺だと言われました。でも、左目の青あざや体は飛び降りた怪我には見えません～自殺などする我が子ではない、「自殺です」の言葉が悔しくなりません、命の重みを考えてと「願いの種」を残しました。</p>
	<p>けいすけ 啓介くん 16歳 三重県</p>	<p>啓介くんは陸上部のキャプテンで、早朝練習に行く途中中学校前の横断歩道で一旦停止しない車に、跳ね飛ばされました。消防士になるための勉強と短距離選手として努力を惜しまない、「努力の種」を蒔き始めていました。</p>
	<p>たくや 拓也くん 16歳 三重県</p>	<p>弓道部の練終後学校前の横断歩道で前方不注意の車に跳ね飛ばされました。告別式は沢山の友人が見送り、友人達は一緒にいると本当に楽しかったそうで、皆の心に「しあわせの種」を蒔いていきました。</p>

